

長尾和宏先生

本日、名古屋市中のミッドランドスクエアシネマで  
けったいな町医者と痛くひい死に方を鑑賞させて

いただきました

三年前、母を自宅で看取った時のことが思い起こされ、泣きながら

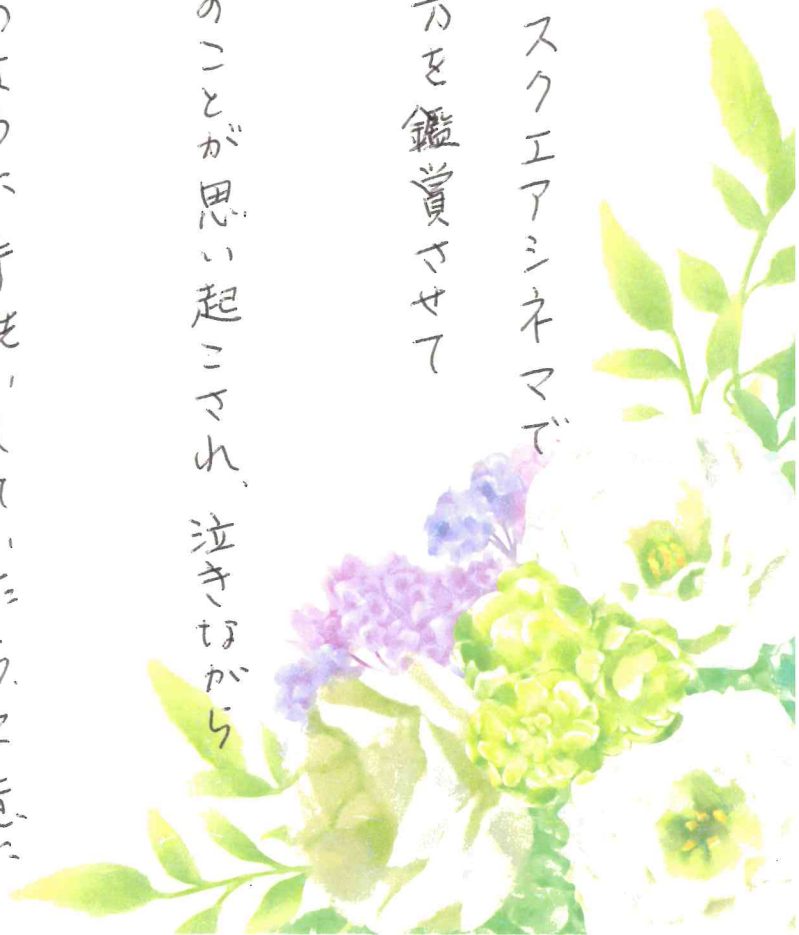
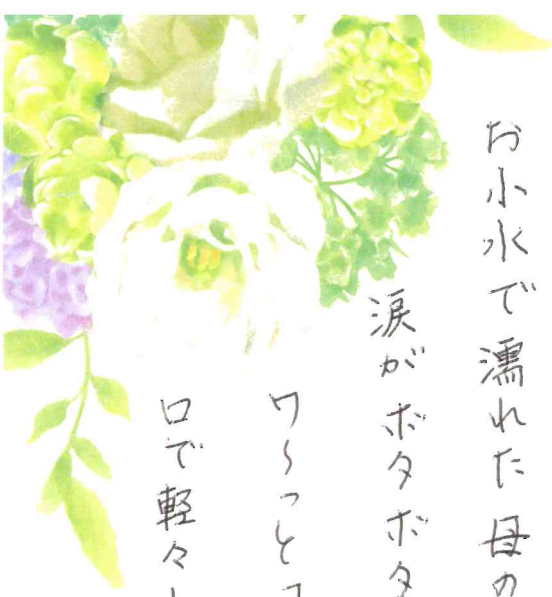
拝見いたしました

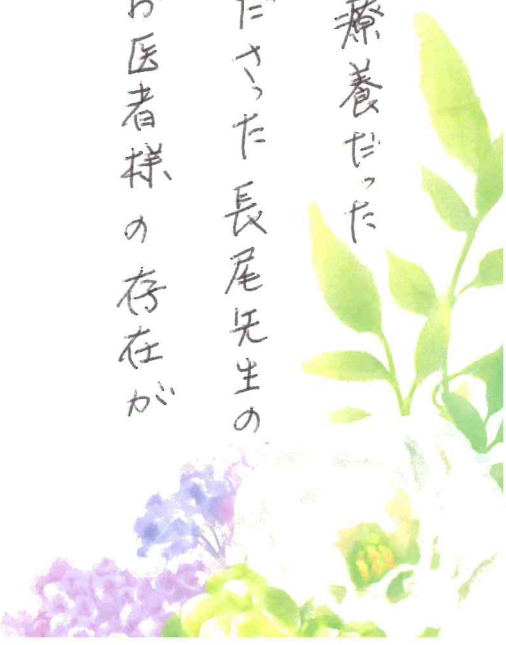
お小水で濡れた母の下着をいつものように手洗いしていたら、不意に

涙がポタポタ！と落ちました。そしてそれと同時に腹の底から

ワウっと「ありがとう」という気持ちが入り込められました。

口で軽々しく言えるもうな感謝心とはまるで別物の感情でした。





このようは体験ができたのも在宅療養だったから、そしてそれを可能にしてくださった長尾先生のようは訪問診療もしてくださるお医者様の存在があったからです

母の最期の時は私たち子どもや孫が母のベッドを囲み、昔の笑いながらしゃべりして、もう母は何も返事はできません！私たちの声は確実に届いていると感じるものがありました

みんなに穏やかに、日常の延長線上で還ることができ、感謝の気持ちでいっぱいです

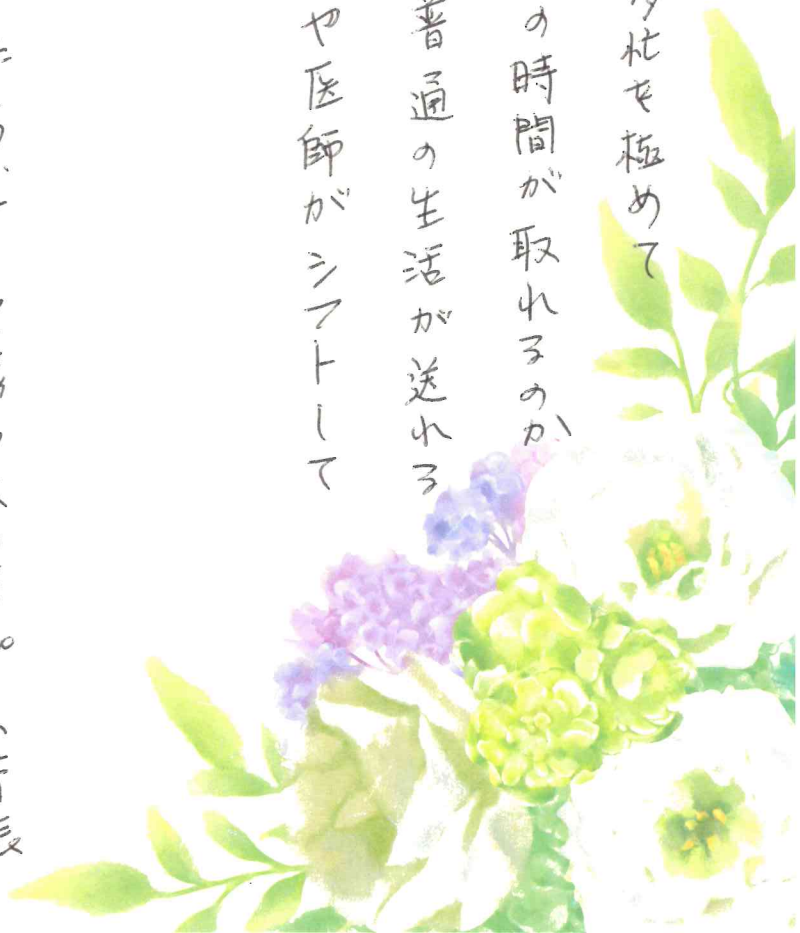
ただ、今日の長尾先生の舞台あいさつのおこしは



ありましたが、訪問のお医者様は多忙を極めて  
いらっしやり、先生のお体やご家族との時間が取れるのか  
心配です。この映画を機に先王も普通の生活が送れる  
くらい本物の医療に多くの病院や医師がシフトして  
くださる事を切望いたします

長尾先生、心と体の癒しが必要でしたら、サイマトクスセラピー（音振  
療法）をさせていただけきに尼崎までボランティアで駆けつけます  
ので、いつでもご連絡くださいませ

長尾先生のご健康を心からお祈りしています



追伸

赤い玉、家族がいっぱい時に観てみたいと  
思います。笑

